

報道機関各位

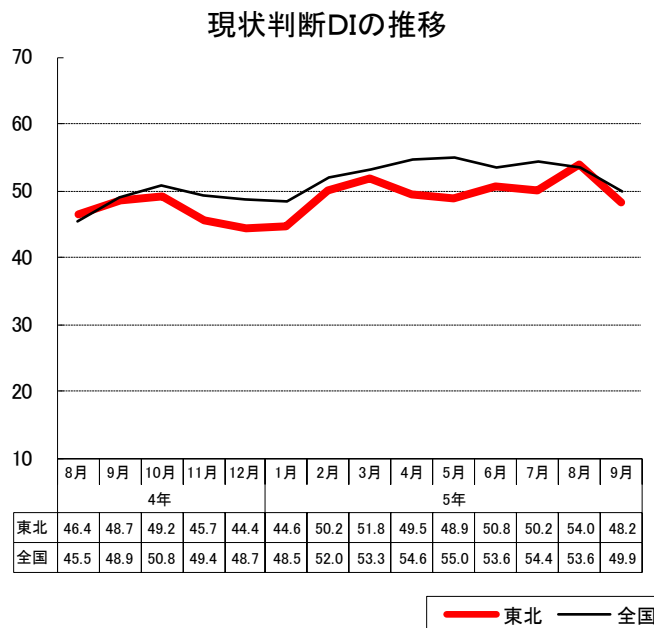
公益財団法人東北活性化研究センター  
 「内閣府 景気ウォッチャー調査 令和5年9月 東北分  
 (東北6県)」について

公益財団法人東北活性化研究センター（会長：増子 次郎 東北電力株式会社 会長）は、このほど「内閣府 景気ウォッチャー調査 令和5年9月 東北分（東北6県）」について、とりまとめましたのでお知らせいたします。

1. 季節調整値

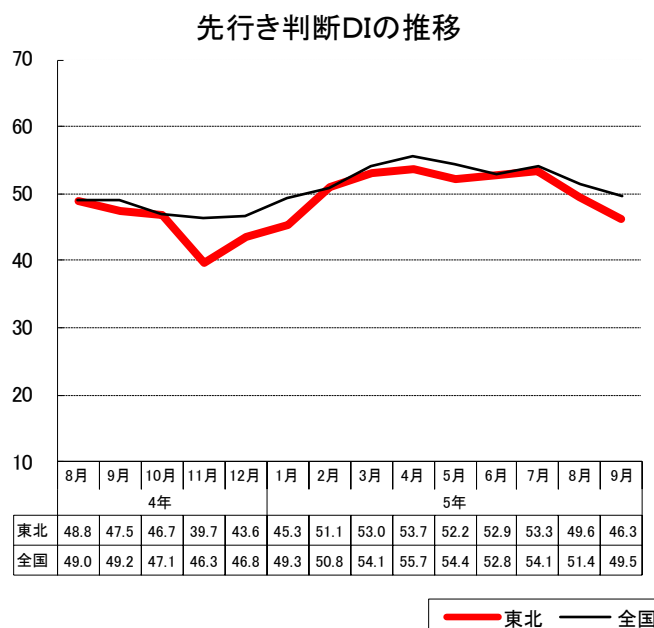
(1) 現状判断（3か月前との比較、方向性）

現状判断DIは「48.2」と2か月ぶりで前月を下回った。前月と比較し▲5.8ポイント低下した。



(2) 先行き判断（2～3か月先の見通し、方向性）

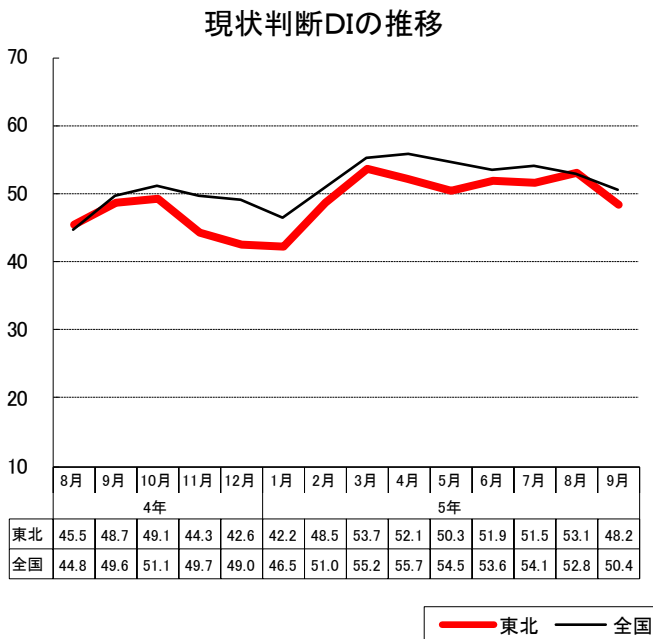
先行き判断DIは「46.3」と2か月連続で前月を下回った。前月と比較し▲3.3ポイント低下した。



## 2. 原数値

### (1) 現状判断 (3か月前との比較、方向性)

現状判断DIは「48.2」と2か月ぶりで前月を下回った。前月と比較し▲4.9ポイント低下した。



○家計動向関連…衣料品専門店、乗用車・自動車備品販売店、スーパー等の業種でDIが前月を上回ったが、百貨店、コンビニ、美容室等の業種でDIが前月を下回った。

DIは「48.7」(▲5.6)と、4か月ぶりで前月を下回った。

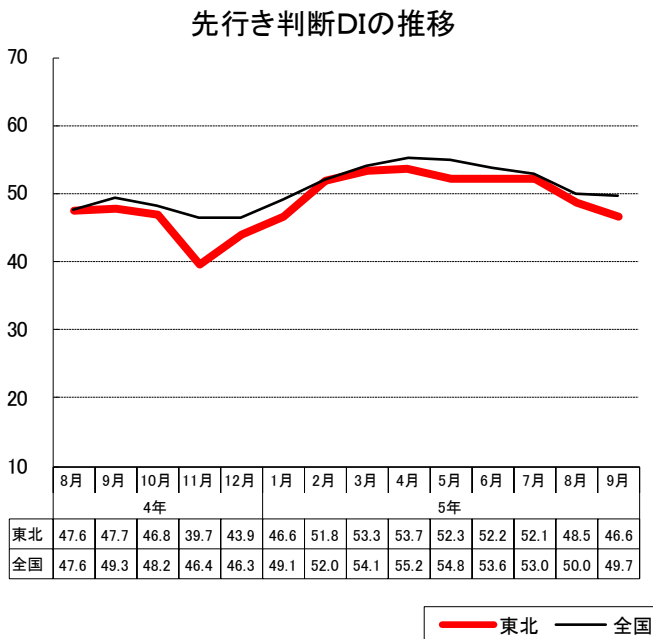
○企業動向関連…一般機械器具製造業、輸送業等の業種でDIが前月を上回ったが、食料品製造業、司法書士・経営コンサルタント・会計事務所、輸送用機械器具製造業等の業種でDIが前月を下回った。

DIは「50.7」(▲4.0)と、2か月ぶりで前月を下回った。

○雇用関連…DIは「40.8」(▲1.3)と、4か月連続で前月を下回った。

### (2) 先行き判断 (2~3か月先の見通し、方向性)

先行き判断DIは「46.6」と5か月連続で前月を下回った。前月と比較し▲1.9ポイント低下した。



○家計動向関連…一般レストラン、一般小売店、スーパー等の業種でDIが前月を上回ったが、コンビニ、観光型ホテル・旅館、百貨店等の業種でDIが前月を下回った。

DIは「46.9」(▲2.2)と、3か月連続で前月を下回った。

○企業動向関連…建設業、金融業等の業種でDIが前月を上回ったが、食料品製造業、輸送用機械器具製造業、出版・印刷・同関連産業等の業種でDIが前月を下回った。

DIは「45.3」(▲2.7)と、2か月連続で前月を下回った。

○雇用関連…DIは「47.4」(+1.3)と、4か月ぶりに前月を上回った。

## <参 考>

### ■DIの推移（原数値）

#### （1）現状判断（方向性）DI

	4年					5年								
	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
東北現状	45.5	48.7	49.1	44.3	42.6	42.2	48.5	53.7	52.1	50.3	51.9	51.5	53.1	48.2
家計動向関連	42.8	47.4	47.6	42.7	42.5	39.9	47.5	53.3	51.8	48.4	50.7	52.5	54.3	48.7
企業動向関連	49.3	52.1	49.3	45.9	41.2	47.3	50.0	55.6	51.4	50.0	52.7	48.6	54.7	50.7
雇用関連(参考)	55.3	50.0	57.9	51.3	46.1	46.1	51.3	52.6	55.3	61.8	57.9	51.3	42.1	40.8

#### （2）先行き判断DI

	4年					5年								
	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
東北先行き	47.6	47.7	46.8	39.7	43.9	46.6	51.8	53.3	53.7	52.3	52.2	52.1	48.5	46.6
家計動向関連	44.3	46.3	45.7	37.9	41.8	45.2	51.3	51.8	52.9	50.9	51.5	50.9	49.1	46.9
企業動向関連	56.1	52.1	48.6	43.9	48.0	52.0	48.6	56.9	54.2	52.7	52.7	56.1	48.0	45.3
雇用関連(参考)	51.3	47.4	50.0	42.1	48.7	44.7	60.5	55.3	57.9	59.2	55.3	51.3	46.1	47.4

※DI（Diffusion Index）について…50を基準とし、50を超えると景気が良い方向にあることを示す。

### ■調査の概要

調査期間 令和5年9月25日～30日

回答者数 170/189名、回答率 89.9%（全国 1,827/2,050名、89.1%）

以 上

#### <お問い合わせ先>

公益財団法人 東北活性化研究センター（担当：三浦 融）  
〒980-0021 仙台市青葉区中央 2-9-10  
TEL：022-222-3394 FAX：022-222-3395

## <別 紙>

### ■特徴的と思われる判断理由（ウォッチャーのコメントから抜粋）

#### （１）現状判断理由

##### ○「良くなっている」

（衣料品専門店）…予想外に暑い日が続いたためサマーフォーマル、半袖シャツ、サマースーツ等の夏物ニーズがあり、9月に入っても売上が好調に推移している。

（その他サービス[自動車整備業]）…秋に入っても好調が続いている。販売価格の値上げができているため、仕入価格や人件費の上昇をカバーできている。

##### ○「やや良くなっている」

（乗用車販売店）…夏のイベントも通常どおり開催され、飲食店にも客足が少し戻っているとの話を聞く。当社でも来客数が増加傾向にあり、販売量も前年比130%で推移している。

（都市型ホテル）…来客数は新型コロナウイルス感染症発生前の2019年と同レベルであり、売上も予算を達成している。

（出版・印刷・同関連産業）…選挙関連の印刷がある。また、広告が増えている。

##### ○「変わらない」

（スーパー）…来客数は回復傾向にある。しかし、客は販売促進の強化時や割引品の購入などに集中している。値上げに対する意識が非常に高く、生活防衛意識は高いままである。単価が高いため売上は上がっているが利益率は低下している。

（家電量販店）…前々月と前月は暑さの影響で季節商材を中心に売上や来客数はある程度好調に推移したが、今月は気温も落ち着いたため来客数、売上共に減少している。景気は3か月前と変わらない。

（その他専門店[酒]）…直近3か月のなかでは動きが1番悪い。地方のお盆や夏の行事が一段落したことに加え、今年は米の収穫が早まって繁忙期が半月早いことも要因とみている。

（観光型旅館）…単価の低いプランに売上が集中しており、客単価が下がっている。来客数が多くても単価が低いため売上が上がらない。

（旅行代理店）…個人旅行と団体旅行の先行予約状況も含め、国内、海外共に3か月前とほぼ同水準で推移している。

（観光名所）…上旬は振り客が前年比120%と増加したが、下旬は前年を割っており、来客数はほぼ前年並みに落ち着いている。

（競艇場）…ほとんどが常連客である。たまに新規の若者が来場しても長居することはない、その後も来場することはない。

（設計事務所）…官公庁案件においては発注物件数の減少や、働き方改革に伴う業務時間の制限等への懸念が業者間で話題となっている。民間案件は建設費の高止まりの捉え方によって客先の判断基準が異なり、それに左右される。

（食料品製造業）…前年と比べるとイベントの開催が少ないため、週末の土産需要が減少しており、売上は前年割れしている。

（一般機械器具製造業）…3か月前より見積件数が増えている。受注量も増えつつあるが、他社との競争や物価高の影響で利益率は厳しい状況が続いている。

（輸送業）…原子力発電所の処理水放出により香港政府が水産物の輸入を禁止したことで、主力取扱商品である当県海産物の輸出が停止し、売上が減少している。

（通信業）…顧客の反応は鈍く、思うような成果があがらない状況である。

(公認会計士) …顧客の月次、決算状況から判断している。小売、サービス、飲食関係は業績が回復しつつある。製造業は部品不足の影響があり、売上が伸びない。建設関係は好調を維持している。全体としての景気はやや良いと判断している。

(人材派遣会社) …企業の中途採用は依然継続している。転職者側からすると、求人の数が増え業種や職種もバラエティーに富んでいるため、転職しやすい状況となっている。人材流出が多くなっており、企業からは人材を定着させるための施策の相談が増えている。

(職業安定所) …夏祭りやイベントの通常開催や観光客、帰省客の増加で、宿泊業・飲食サービス業、卸売業・小売業の求人数が増加している。一方、原材料やエネルギーの価格高騰の影響で建設業の求人数が減少している。製造業は飲食料品製造の求人数が堅調であるものの、電子部品、金属製品製造で減少している。

(学校[専門学校]) …引き続き専門学校への求人の問合せはあるが、だからといって景気が回復しているとは判断できない。企業側では希望する人材が確保できないという厳しい状況が続いている。

## ○「やや悪くなっている」

(一般小売店[雑貨]) …9月に入っても真夏日が続き、中旬までは夏物衣料の残りしか売れなかった。下旬からは冬物衣料に並べ変えたため、秋物衣料の販売ができなかった分、売上の落ち込みにつながっている。

(百貨店) …残暑により秋の季節商材の動きは厳しく、全体にも大きなマイナスの影響が出ている。また、売上がけん引してきた高額商品の動きが1年を回り鈍くなっているが、その分を好調なインバウンドでカバーしている。

(コンビニ) …例年、お盆、夏休み後の9月は売上が下がるが、今年は目的買いでの来店が多くなっており、ついで買いや衝動買いが激減している。たばこのついでにコーヒーも購入するとか、喉が渴いたからお茶を購入するというような動きが見られない。

(高級レストラン) …今夏のにぎわいが9月に入りやや鈍化しており、レストランの来客数に顕著に表れている。また、ホテルの宿泊客はいるものの朝食の喫食率が低下している。

(遊園地) …中旬まで暑さが残り、来客数は低調に推移した。下旬も勢いがなく、3連休が2度あった前年と比べて2割減少の見込みである。

(美容室) …9月もかなり暑かったため、客足が遠のいている。

(輸送用機械器具製造業) …受注量が減少している。先々の引き合い案件も減少している。

(建設業) …主だった受注契約がない。

## (2) 先行き判断理由

### ○「良くなる」

(建設業) …年末をめどに交渉中の案件が複数あり期待できる。

### ○「やや良くなる」

(一般小売店[医薬品]) …10月の選挙が終われば街も落ち着き、人々が出てくるようになるとみている。また、イベントもいろいろと行われるため、消費活動も活発になるとみている。

(スーパー) …物価は上がっているが収入が少しずつ増えているため、ようやく消費に回り始めている。

(乗用車販売店) …メーカーの生産体制が比較的安定しているため、新車売上が前年を上回る状況が続くとみている。しかし、中古車は在庫が例年の8割程度と少ない状況が続く。

(高級レストラン) …年末商戦での来客数の増加と、年末年始商品の販売での売上増加を見込んでいる。

(一般レストラン) …真夏の暑さが終わり客足もそろそろ戻るとみている。年末になれば飲食店は忙しくなる。

(金融業) …主力一次商品の流通が始まり、地元経済としては活気を帯びる時期である。異常気象による作柄不良や、中国の輸入禁止による水産業への影響など懸念材料はあるものの、地元経済は新型コロナウイルス感染症発生前と同程度に活性化するとみている。

(人材派遣会社) …上期同等の採用計画で動く会社が多く、下期も好調とみている。

(民間職業紹介機関) …取引先企業から人手不足等の相談が続いている状況のため、生産動向は上向くとみている。

## ○「変わらない」

(商店街) …祭りやイベント開催により商店街の来街者数は回復傾向にあるが、消費については、物価高、光熱費の高騰により変わらないとみている。

(その他専門店[白衣・ユニフォーム]) …暖冬の予報が出ており、防寒ジャンパーなど冬物全般の動きが悪くなることを懸念している。飲食店や観光業は客が戻ってきて活気があるが、人手不足があり、制服の需要がどれだけあるかは未知数である。閉店する飲食店も結構あり、その影響も出てくるとみている。

(出版・印刷・同関連産業) …物価高騰による消費低迷が及ぼす影響を懸念している。

(輸送用機械器具製造業) …一部の客先からは発注が横ばいとの情報が入ってはいるものの、良い情報が少なく動きが見えない。

## ○「やや悪くなる」

(百貨店) …落ち着いてきているとはいえ、まだ物価上昇は続いており、消費行動にも影響している。購入の優先順位が明確で、複数アイテムの買上は控えられ、客単価が低下するとみている。

(コンビニ) …田舎では賃金が上がらないため、客の財布のひもが固くなり、売上に影響するとみている。

(観光型旅館) …物価高の影響が大きい。特に光熱費は細かい分析を行っているが、料金に反映させなければならぬ状況になる可能性がある。新型コロナウイルス感染症の影響はもうない。

(通信会社) …新機種の販売が落ち着く時期になる。

(テーマパーク) …自然災害の影響もあり、平日と休校日で売上に大きな差が出ている。また、物価上昇の影響で、自家用車での来館は減少し、売店での購入率も低下しているため、やや悪くなるとみている。

(食料品製造業) …10月に100近い商品の値上げを控えており、販売量が減少するとみている。

(金属製品製造業) …当社の受注予測は悪くないが、周辺の製造業はどこも仕事量が減っており、当社にもその波が来る可能性がある。

(通信業) …値上げが続き、少しでも生活費の出費を抑える傾向がみられ、携帯電話の安いプランへの変更や格安スマートフォンへの乗換えを検討しているという声を多く聞く。

(職業安定所) …求人数は現在のところ求職者数を上回る状態が続いている。しかし、全業種において電気料金の高騰が収益を圧迫していること、及び物価上昇の継続が個人消費に影響を与えており、先行きが懸念される。

東北地域に関する解説は、当センターの責任でまとめたものです。

以上